

平成29年度羽曳野市事務事業評価シート(平成28年度実施事業)

				コード	411-03-03			
事務事業名		(仮称) こども未来館たかわし設立準備事務事業			事務の種類		自治事務 (義務的なもの)	
担当部署名		市長公室(仮称) こども未来館たかわし設立準備室			連絡先		内線1210	
総合基本計画	施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち		予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	子育て支援			款	3	民生費
	施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援	項		2	児童福祉費	
				目		10	こども園費	
対象 (誰を・何を)		(仮称) こども未来館たかわし						
目的 (どうしたいか)		(仮称) こども未来館たかわし設立にあたって、施設整備にむけた準備を行う。						
手段 (事業内容)		施設整備にあたっての調整・予算作成および運用に関する資料作成等を行う。						

事業費

単位：千円	27年度決算	28年度決算	29年度当初予算
事業費		0	0
人件費		2,584	2,592
総事業費		2,584	2,592
うち市負担分		2,584	2,592

28年度決算主な内訳

活動指標

指標名	準備行為としての視察・協議 (回)		
指標の説明	運営開始にあたっての協議回数 (29年6月より運営開始にて29年度目標は少ない)		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標
		49	20

参考数値
視察先 認定こども園 2 か所 公立幼稚園 1 か所 協議先 大阪府・建築受託事業所・ 電気、ガス、水道、電話設備 関連事業所・ 備品関連事業所 等

成果指標

指標名	(仮称) こども未来館たかわし運用開始		
指標の説明	運用に向けての協議、予算作成・執行等を行うが、運用開始が29年度であるため、数値化することが難しい。		
指標データ	27年度実績	28年度実績	29年度目標

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	事業費は適正である。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担はない。	

総合評価

☐ 拡充・重点化	☐ 現状維持	☒ 改善して継続	☐ 縮小・統合	☐ 完了	☐ 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 (仮称) こども未来館たかわしの運用開始に向けての関連事務は、当準備室において取り扱うが、平成30年4月の開園後は、別の部署での運用予定のため、事務に支障をきたさないように、確実な事務引継ぎを行っていきます。					